

平成 26 年度 第 5 回神守中学校支援地域本部実行委員会

平成 27 年 1 月 20 日・火 19:00～20:15

校長室

<出席者> 城、大野、水野、長谷川、山口、伊藤、梶村、飛田(P)、校長、教頭

<次第> 進行：教頭

1 開会の言葉

2 本部長あいさつ

* 明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。今年の正月の「箱根駅伝」は凄かったですね。神守中出身の青山学院大学の神野大地さんは、「新山の神」になり、また先週の日曜日にも、愛知県代表として全国都道府県対抗男子駅伝でも活躍し、来年は箱根へ応援に行きたいという声が多くの人からかけられます。神守中の誇りであり、名誉なことです。

豆ボラ実行委員会も 5 回目を迎え、多くの人の協力で大きくなってきました。年度の節目を迎える時節、インフルエンザにも気をつけて、共に頑張りたい。

3 校長あいさつ

* いつも大変お世話になっています。市教委によると、来年度も本年度並みの予算がつく予定とのこと。

* 年度末の市地域教育協議会の予定は 3 月 12 日(木)16:00～の予定。

4 協議事項（各支援、交流会、平成 27 年度学校のニーズ等）

(1) 学習支援

・月テラの活動状況・・・参加生徒数 19 名<1 年 15 名、2 年 1 名、3 年 3 名>
1 / 19 現在（9 回目 / 15 回中）

* 学ボラさんも、生徒に応じて個別の対応をしている。

・ドテラの活動状況・・・参加生徒数 25 名<1・2 年生を 3 名含む>
1 / 17 現在（17 回目 / 25 回中）

* 外国人支援として、ドテラでは日本語指導を通して学習指導を実施。かなり、日本語も通じるようになってきている。

* 学習スタッフからも学習スタート時には、忘れ物・遅刻のないようにと伝え、生徒の方もかなり意識してできるようになってきました。

(2) 図書支援

* 本日から新しいボランティアさんも参加して、受付方法や手順を伝え、楽しく活動を実施している。

・本の貸出し業務 継続活動中

・飾り付け（過去に制作したものを有効活用している。）

* タイムリーな掲示や本の紹介に心がけ、神野大地さんの箱根駅伝関係の雑誌の紹介や中学校時代の様子などを掲示し、彼の母校神守中学校としても、生徒の図書委員会活動で掲示物を作成するなど、応援の機運を盛り上げようと共同で取り組んでいる。

また、芥川賞を受賞した西加奈子さんの著書を 6～7 冊、カウンターに並べ、生徒の読書意欲をかき立てている。

・第 2 図書館（北館）の設置。

利用状況と図書ボラへの要望等

(3) 外国人支援（H26 からスタート）

* 日本語指導を中心に、ドテラにも特別参加して、早く中学校生活に慣れ、友達とも親しい

関係を築いてほしいと願っている。

(4) 環境

・PTA、生徒ボランティアと協働で、プランターへの花植え（11月）

*生徒が自発的に動いてくれて、非常に助かっている。また、大人に対しての壁がなく、分からないことは遠慮なく訊けるし、指示に対してドンドン進めていく姿がみられた。

(5) 生活安全

・校内巡回（次回巡回予定 都合が合えば、1月26日から週で実施）

・「風と土の会」・・・昨年10月に実施

*3年生が進路相談等で午後からいなくなる日が多くなり、2月に入ると私立入試が始まり、全校生徒がいる日が少なくなってくるので、現在、予定を調整中です。

(6) 学校行事支援、学ボラ派遣

・キャリア教育支援2年全クラス・・・1月23日実施予定

*8名のボランティア参加予定、校区内2名・市外6名の大学生と社会人により、進路・受験・勉強・高校生活・大学生活・世の中など将来について幅広く、訊くことにより、今後の将来に役立てる目的で実施。1限は職員とボランティアさんとの打合せ。その後、2限から6限まで順に5つのクラスで実施。

(7) 小学校より学ボラ派遣の依頼

・蛭間小・・・現在なし。

・高台寺小・・・現在なし。

・神守小・・・以前、学ボラさんの派遣依頼があったが、希望者がなかった。

(8) PTAから（副会長：飛田さんより）

*1月27日に、PTAの委員会があるので、その場で本日の連絡事項を伝える予定。

*生徒の卒業と同時に保護者も中学校を卒業するので、たとえ1日でも1回でも都合がつけば、豆ボラのボランティアとして、参加・応援していただけるとありがたい。

(9) コーディネーター活動

*来年度も、本年度並みの予算がつく予定。

①1月11日（日）MSAT（名城大学名駅サテライト）授業実践交流フォーラムで、豆ボラの学生ボランティア募集チラシを配付。（正月チラシも同時に配付）

*当日の様子は「コーディネーターブログ」に掲載済み

*豆ボラでの学習ボランティアさん（現役・卒業生）に多く会えた。また、紹介することで、ドテラ・月テラに興味をもってもらった人も数名いた。

②研修会

・生涯学習ボランティアスキルアップ講座（愛知県生涯学習センター）

5回 9/8, 26, 10/3, 17, 11/5 長谷川参加

・文科省主催 「平成26年度地域とともにある学校づくり推進フォーラム」

岐阜会場 11/25 13:00～ じゅうろくプラザ 長谷川、山口参加

*コミュニティスクール・マイスターという人からの説明に対して、とどまることなく積極的に質問が出され、地域と学校の連携に対し、参加者の意識の高さを痛感した。

③その他

・春日井市教委から15名、豆ボラ見学予定（2月7日午前）

*春日井市は行政リードで地域本部を創ろうとしており、各界の関係者の見学が中心。

これまでの研修会での発表から、例えば、刈谷市は、スクールガードを中心に地域本部が設置され、大治町は町の登録ボランティアを各学校へ派遣する形で地域本部がある。地域によって運営方法は様々である。

(10) 広報

①ホームページ更新（全般：井上、ブログ：長谷川）

②正月チラシ校区内全戸配付（作成：渡部）

*市役所、ヨシヅヤ本店、蛭間コミュニティの専用ラックに

③1月11日 名城大学MSAT研修会で、大学生ボラ募集チラシ・正月チラシ配付。

(11) その他

①「西尾市立平坂中学校不登校研修会」で講演 梶村 11月25日（火）午後

*講演の中で、豆ボラでの不登校支援・全活動状況などを紹介した。

②津島警察署から感謝状贈呈

③津島市社会福祉協議会から感謝状贈呈

実行委員会の今後の予定

| 月 | 日・曜 | | 地域教育協議会 | 実行委員会 |
|----|-----|---|--------------------------------|-------------------------|
| 5 | 12月 | 済 | 第1回地域教育協議会16:00～ | 第1回実行委員会17:00～ |
| 5 | 17土 | 済 | 春のボランティアミーティング13:30 | ←事務局で |
| 7 | 8火 | 済 | | 第2回実行委員会19:00～ |
| 9 | 16火 | 済 | | 第3回実行委員会19:00～ |
| 11 | | | 秋のボランティアミーティング13:30 | ←事務局で （実施せず） |
| 11 | 10月 | 済 | | 第4回実行委員会19:00～ |
| 1 | 20火 | 済 | | 第5回実行委員会19:00～ |
| 3 | 12木 | | 第2回地域教育協議会16:00～ | 第6回実行委員会17:00～ |

※11月以降は、開催日の検討を行う。

(12) 中学生ボランティア依頼状況

| 月 | 日 | 曜 | 行事名 | 主催団体 | 参加者数 | 活動内容 | 引率 |
|---------|----|---|--------------------|---------|--------|----------------|----|
| 8 済 | 2 | 土 | 高台寺小校区コミュニティ夏まつり | 高台寺小コミ | 生徒 25名 | 出店担当 その他 | 赤田 |
| 8 済 | 2 | 土 | 蛭間校区コミュニティ盆おどり | 蛭間コミ | 生徒 18名 | 出店手伝い | 石田 |
| 8 済 | 24 | 日 | 宇治町自主防災訓練 | 宇治町町内会 | 生徒 14名 | 体験参加 | 石田 |
| 10 済 | 18 | 土 | 神守小校区コミュニティフェスティバル | 神守小コミ | 生徒 48名 | 出店補助準備・運営 | 小林 |
| 10 済 | 25 | 土 | 神守保育園ふれあい秋祭り | 神守保育園 | 生徒 27名 | ゲーム補助 準備片付け | 阿部 |
| 11 済 | 16 | 日 | 神守小学校区自主防災会防災訓練 | 神守自主防災会 | 生徒 25名 | 体験参加、 補助 | 石田 |

| | | | | | | | |
|---------|----|---|------------------|-----------------|--------|---------|----|
| 11 済 | 30 | 日 | 神守校区いきいきウオーキング | いきいきウオーキング実行委員会 | 生徒 16名 | 準備、受付 | 兼子 |
| 2 | 14 | 土 | 神守小学校区自主防災会しゃべり場 | 神守自主防災会 | 生徒 10名 | 防災意見交換会 | |

* 2 / 14分は、現在、検討中。

* 上記以外にも数件、中学生ボランティア派遣の依頼があった。学校としては、派遣の大原則として、「日時が迫っているなど急な依頼でないもの、公共性のあるもの、中学校区内のもの、中学校の学校行事等や部活動の大会等に日時が重ならないもの」などを中心に、精選していきたい。

5 連絡依頼事項

(1) ボランティア保険の加入について（116名：H27.1.20 現在）

* これ以後、ボランティアの回数も少なくなり、今後ボランティア参加希望が出た場合は、保険加入しない予定。

(2) 地域の他団体との連携（「中学生ボラ」派遣団体から）

- ・ 神守小校区コミュニティ
- ・ 高台寺小校区コミュニティ
- ・ 蛭間小校区コミュニティ
- ・ 神守自主防災会
- ・ 神守保育園
- ・ 宇治町町内会

6 その他

* 職員に、豆ボラの存在に関してのアンケートをしたところ、「非常に助かっている」との声がほとんどで、「もう少しやってもらえると尚ありがたい」という意見が大勢を占めたとのこと。

* 来年度は、4月当初の生徒の状況や教師の転出入により、学校からのニーズも変化する可能性がある。現時点では、今年度並みにはお願いしたい意向。

* 生徒にとって豆ボラの存在は非常に大きい。本来、親以外の大人とコミュニケーションする機会は、他の中学校ではほとんどないに等しい。神守中学校の生徒は、毎日のように大人がボランティアで出入りする中で、それだけでも挨拶をはじめ、自然に会話や受け答えができるようになる。また、大人が多く大人とつながっている姿をみて、子どもも寛容な態度で、多くのつながりをもてるようになる。そのためには、先生や生徒が4月で入れ替わるので、継続的に繰り返し大人がつながりをもてるようにすることが、子どもにもよい影響を与えると思われる。その意味で、神守中の生徒は幸せである。